

こころのやすらぎ



心理相談員
佐藤佳子

子どもたちは「放課後の時間は友だちと遊びたい」と言っています。

一日授業を受けて「勉強が終わったら」とホッとした後、友だちと一緒にたくさん遊べるのができる唯一の時間が、放課後なのでしょう。

体育館では、ボールなどを使って遊んでいます。

また、教室からは笑い声が聞こえてきます。時には、担任と楽しそうにおしゃべりしている姿もみられます。

相談室では、トランプで遊んだり、相談事だけでなく楽しいおしゃべりなどもしています。

夕暮れになるまでには、家へ帰れるように「また明日、会おうね。さようなら」と言いながら下校時間を守って子どもたちは帰って行きます。子どもたちの姿を見ながら、

「明日も友だちと楽しく、仲良く遊べる事ができるといいね。」と思う瞬間でもありません。

以前から気になっていたことがあります。

「意地悪(いじわる)をされたことがあるんだ」と言ってきた子どもがいます。

「意地悪」の言葉を聞いたときに、みなさんはどのように思いますか。

「意地悪」を辞書やインターネットなどで調べてみると「悪口や陰口を言う、嫌がらせや仲間はずれをするなど、人につらくあたること。」

「わざと人を困らせたり、つらく当たったりすること。」と書いてありました。

仲間はずれ、悪口、陰口、無視(シカト)の「意地悪」をされていることは、とても辛いことではないでしょうか。また本人にしか分からない傷ついた思いもあるのではないかと思います。

友だち同士で「意地悪」をすることは、良いことではないと思います。大人同士でも「意地悪」があると言われていますので無くなることを願いたいのです。

でもいったいなぜ「意地悪」に至ってしまうのでしょうか。

*何だかいつもイライラしている。
*ちよつとした事に必要以上に腹をたてる。キレたりする。

*人の失敗を取り上げバカにしたり、自分のミスを認めないようにする。
その他にも、いくつかタイプ

があるとされています。怒りが動機となって行動をしようとする。

人は親に愛されたという体験をしながら大きな喜びを感じて満足をしていくようです。

満足できていないと、人はだんだんひねくられて、親に対しての不満や怒りなどが溜まっていき、溜まった怒りを出そうとして、自分自身に向けて心身に影響が出たり、行動に出していじめ、非行、暴力など人に対しての攻撃性が行われると言われています。

また、怒りを自分以外の他人にぶつけても「自分が悪い」とは思っていないこともあるようです。

親に愛されなかった不満、寂しさ、憤りなどから人間不信になってしまい心の中には怒りや複雑な思いがあるのだそうです。

「意地悪」について書きましたが、もしかして複雑な思いを持ちながら過ごしている子どもがいるかもしれません。

親御さんは「愛情を持って育てている」と思いますが、子どもによってはその愛情が「心の器」に満たされていないこともあるようですので、お

子さんの様子を見てもいい、お子さんと接する時間を取っていただけたらと思います。

心理相談室の利用について
心理相談室では、教育にかかわる心理的な悩みの相談に応じています。

ご自身の学校での悩みや、お子さんについて心配なこと、学校での心配ごとをお気軽ににご相談ください。

相談日・相談時間

相談日：水曜日

相談時間：

午後2時～5時

相談場所：心理相談室

相談料：無料

あらかじめ電話で相談日時を決めます。水曜日、

午後2時～4時30分の間にお電話ください。

予約・問い合わせ先

エコールみやた生涯学習係(32)2770または

(32)9100へかけていただき、心理相談室内線

117番へ繋ぐようお願い

ください。

秋の火災予防運動

空気が乾燥し火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、防火意識の向上と火災の発生を防止することを目的とし、全国一斉に秋の火災予防運動が11月9日(火)から11月15日(月)まで実施されます。

火災による悲惨な事故を無くし、明るい町をつくるため、次の3つの習慣、4つの対策を心がけましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～3つの習慣・4つの対策～

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、**防災製品**を使用する。
- 火を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

平成22年度全国火災予防統一標語 【消したかな あなたを守る 合言葉】

※火災予防運動中は火災予防啓発のため、消防職員および消防団員により消防車両での広報活動や各地区にある警鐘楼の鐘を鳴らします。広報活動や鐘を鳴らすことによりご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。なお毎月1～2回、女性消防団員による広報活動も実施していますので、併せてご理解とご協力のほどよろしくをお願いします。

◎地震体験してみませんか

毎年小学生と保育園児などを対象に実施している、地震体験車による地震体験。

この地震体験車は、前後、左右、上下に動き、よりリアルに実際の地震に近い振動を体験でき、新潟県中越沖地震や阪神・淡路大震災など、実際に発生した地震を再現し体験することができます。

今年はより多くの皆さまに体験してもらいたく、エコールみよた駐車場にて、11月14日(日)午前10時から午後3時まで地震体験車を設置しますので、多数のご参加をお待ちしております。

